

岡崎市長 殿

岡崎市議会議長 太田 俊昭

おかざき未来“夢”プロジェクト
『産業とまちづくり』ラウンドテーブル「提言書」

岡崎市議会では、昨年に引き続き市内大学生との意見交換会を開催。今年は愛知産業大学と共催で本市の『産業とまちづくり』について実施した。

本市においては、乙川リバーフロント地区におけるまちづくりを進めるとともに、歴史的風致の維持・向上を図る歴史まちづくりも進めているが、愛知産業大学が持つ3つの学科それぞれの特徴と強み、さらに若者の視点を本市が進めるまちづくりに活かすことが出来るよう意見交換を行い、得られた内容をまとめ、担当部局への「提言書」として提出するものである。将来を見据えた政策づくりに努められたい。

『本市の産業とまちづくりについて』

(1) 回遊動線 QURUWA における
経済活性化戦略

岡崎市には、岡崎城はじめ数多くの観光資源が存在するが、その魅力の発信について、若者から年配の方まで誰もが魅力を感じやすい方法及び QURUWA 内を回遊するための自転車等の移手段を検討されたい。
また、お酒落なカフェの出店等民間が活躍できるまちづくりに努められたい。

QURUWA 内休憩施設の更なる充実
地域・商店街・民間との連携

(2) 岡崎らしい景観とまちづくり
~楽しく、美しい街をつくるために~

徳川家康公生誕の地である岡崎には歴史的建造物、文化、産業など他市に誇れるものがある中で、対外的な PR の弱さやまちづくりの統一性の欠如が感じられるため、改善に努められたい。

伝統遺産を活用し観光客が集まる
まちづくり
戦略的な対外的 PR

3つの視点はすべて繋がっている
バランスが大切！
元気の岡崎市の維持
岡崎城等魅力的な施設の
訴求力の向上
検索されやすいキーワード
万人に分かりやすい情報発信
大学と岡崎市、市議会との連携

(3) 住むヒト訪れるヒトそれぞれの
「欲しい 要らない」の模倣が導く
調和した街のデザイン

岡崎市の要らないものの一つに『ゴミ』があるが、AI を活用したゴミの自動分別、自動収集等を研究・検討し、キレイなまちづくりに努められるとともに、今後のまちづくりデザインに AI を積極的に活用するよう努められたい。

行政サービスに AI の積極的な活用
AI を活用したニーズの抽出